

# 瓢箪山のまちを歴史の目で見直す

ひょうたん山夢街道まつり実行委員会 会長 有友 新三郎

平成二十五年「自分たちのまちは自分たちでつくる」をキーワードに市民が語り合う東大阪市主催「まちづくり意見交換会」が地域ごとに開催されました。

そして、我々が住む地域(枚岡、瓢箪山周辺地域)の意見交換会を通じ、「地域の豊かな歴史・文化資源」「地域の魅力」をもっと地域内外に広く情報発信・アピールし、興味と関心の輪を広げていこう、という熱い思いを持った有志の集まりが、このプロジェクトの始まりです。

東高野街道には現在では瓢箪山駅前商店があり、日々買い物客で賑わっており、数多くの人びとが往来しています。

日本の文学で著名な俳人・松尾芭蕉は江戸中期に暗越奈良街道を通り大坂へ最後の旅をしています。

いわば歴史を振り返れば、千年以上の歴史と現代が地域に混じり合い息づいているまちと言えましょう。

さらにもう少し歴史を詳しくみますと生駒山麓に広がるこの地域には、山畑古墳群、古社寺、史跡など歴史遺産が多数存在します。また、枚岡神社秋郷祭など地域に根付く伝統行事・伝統文化が、今に脈々と受け継がれています。こうした地域の豊かな歴史・文化資源、いわば『郷土の宝物』に目を向け、その存在と魅力を、特に次世代を担う子どもたちや若い世代に再発見してもらいたい。そこから郷土に愛着と誇りを持つてもらおうよう地域全体で育んでいきたい。その実現の

ため、まずは地域への興味・関心を持ってもらう起爆剤として、この地域を南北に走り、古来より、京の宮人や戦国武将たちも多数往来した「京みち」と呼ばれる東高野街道を舞台としたイベントを開催するに至りました。

## 「時の天下取りの人物が登場」

正平三年（二三四八）楠木正行が本陣としていた六万寺往生院を出発し東高野街道を通り四條畷に向かった。後には天下を統一した織田信長は、石山本願寺攻略のため同じくこの街道を数回にわたり往来し若江城に入っている。

江戸時代を開いた徳川家康は、大坂の陣において豊臣方と戦の為通っている。このように東高野街道にゆかりの歴史上の有名人は数多と言えましょう。

平成二十七年七月二十六日の「第一回ひょうたん山夢街道歴史シンポジウム」を皮切りに夏には地元をテーマとしたトークイベントの開催、秋には段ボール甲冑を着た武者が瓢箪山駅前商店街を練り歩く時代行列パレードをメインイベントとする「ひょうたん山夢街道まつり」を毎年開催してまいりました。そして令和元年十一月三日「第五回ひょうたん山夢街道まつり」の開催をもって、私たちの活動は無事五周年を迎えることができました。

私たちの活動がここまで続けてこられたのも、応援

ご協力いただいた地域の皆様方のお陰であり、ほんとうに感謝の気持ちに堪えません。中でも、市立日新高等学校、府立枚岡樟風高等学校、大阪経済法科大学、大阪商業大学、近畿大学の学生の皆さん並びに指導にあたられている先生方には、パレードへの参加や当日の警備など並々ならぬご協力をいただき、心より感謝いたしております。



段ボール甲冑武者など、時代装束を纏った時代行列パレード



瓢箪山歴史シンポジウム

併せまして、校区自治連合会をはじめ地元商店街、関係団体、各企業の皆様には委員会発足当初より、私たちの取組みにつきまして、ご理解とご支援、ご協賛をいただいで参りました。この場を借りて厚くお礼を申し上げます。

残念ながら令和二年度はコロナ禍により全てのイベントの中止を余儀なくされてしまいましたが、これにめげることなく、さらなる発展を目指して活動していく所存です。引き続き皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(まち・むら文化研究会)



「河内にわか」竹春座公演



ノベルティ缶バッジ



学生ボランティアのみなさん



「第1回ひょうたん山夢街道まつり」集合写真





瓢箪山駅前特設ステージ  
河内音頭（河内家将春）と踊り手のみなさん



こさかジャズストリートから  
参加いただいたアーティストの皆さん

